

# わたしたちにできること

市は令和3年5月に内閣府より「SDGs未来都市」に認定されました。持続可能な(住み続けられる)まちづくりに向けた市の取り組みや私たちができる身近なことについて、不定期で紹介します。

問い合わせ先 SDGs推進室 ☎0968(41)4488

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs未来都市  
菊池市



## 菊池農業高校が「産直ドミノ基金®アワード2024」※でCEO特別賞を受賞!



菊池農業高校SDGs研究班の竹資源を生かした活動が、(株)ドミノ・ピザ ジャパンの「産直ドミノ基金®アワード2024」で、全国35団体の応募の中から最高賞のCEO特別賞を受賞しました。

同研究班は、これまでさまざまな賞を受賞して、高校生の活動が注目を集めています。

### 菊池農業高校で授与式が行われました

5月23日に、菊池農業高校で「産直ドミノ基金®アワード2024」CEO特別賞の授与式が行われました。マーティン・スティーンクスCEOは「若い世代の人たちが関わる素晴らしい取り組み」と称賛。

生徒たちも「農業を通して地域が笑顔になれる社会を目指していきます」「タケノコを使ったピザ制作も行ってみたいです」と話しました。また、生徒たちは市役所を訪問し、市長へ受賞報告も行いました。(関連31頁)

## 多国籍バンドが地域の夏祭りに出演



菊池国際交流協会の理事らが市内在住の外国人とバンドを結成し、8月17日に開催された高野瀬区の夏祭りのステージに出演しました。外国人が日本語で歌を3曲披露し、地域の皆さんと交流を深めました。バンドに参加したヘレナさん(インドネシア出身)は「楽しかったです。日本語をもっと勉強したいと思いました」と話しました。

## 竹資源を活用した持続可能な地域づくりを目指して

同研究班は「農・食・環境」をテーマに、放置竹林や竹害の解決に取り組んでいます。この活動は、学校で栽培するトウモロコシなどが野生生物に食べられてしまう農作物被害から始まりました。

手入れされなくなった竹林の荒廃が鳥獣被害の一因と分かり、地元のNPO法人や行政、企業と連携して、放置竹林の整備や、伐採した竹の活用を進めています。門松や竹灯籠作りの他、タケノコレシピの開発や竹チップを使った段ボールコンポスト(生ゴミ堆肥)の研究など、多彩な取り組みを展開。今後は竹炭を土壌改良資材として活用する実証実験にも挑戦していく予定です。



これまでに竹チップを使った段ボールコンポストのワークショップを開催してきました。商品化を目標に研究を重ねています

※(株)ドミノ・ピザ ジャパンでは、「ニッポンの生産者の今と未来を応援する」ことを目的に、「日本の農林水産業に関わる、今と未来の課題にチャレンジする、地域に根差した活動」に対して、表彰・支援金の授与を毎年行っています

## 外国人の相談を受け付け中!

外国人住民の皆さんが、暮らしの中で「分からないこと」や「困ったこと」などがあれば、気軽に相談してください。相談は無料で、予約はいりません。

**とき** 毎週火曜日 ※変更になる場合があります  
午前9時30分～午後3時

**ところ** 市役所本庁舎2階市長公室(20番窓口)

**内容** 韓国語と中国語を話せる人がいます。その他の言語は翻訳機などを使う場合があります。

# 社会を明るくする運動

法務省が主催する「社会を明るくする運動」。市内の中小高校生を対象に犯罪や非行のない地域社会づくりをテーマに作文を募集しました。広報きくち9月～10月で各部門の最優秀作文を紹介します。



小学生の部 最優秀作文

## 社会を明るくする3つの力

旭志小学校6年 岩根よつばさん

最近、ニュースで「小学生の列に車が突っ込み、4人がけがをおった」という事件を見かけました。きちんと並んで登下校していても、いつどこでこのような事件に巻き込まれるか分からないということに、強い恐怖を覚えました。自分の住む町でこのような事件は決して起こってほしくないです。

これらのことから、私は犯罪、非行のない地域社会づくりをするために3つの力が大切だと考えました。

1つ目は、地域みんなで協力し、支え合う力です。ニュースで、あるお年寄りが一人で家にいるときに知らない番号から電話がかかってきて、お金を請求されて振り込んでしまうという事件が増えてきていることを知りました。

お年寄りがこのような被害にあうことが多いのは、「一人で過ごすことが多い」「最新情報をつかみにくい」といったことがあると思います。被害を減らすためにも、地域の人同士で日ごろから声掛けをするなど支え合う関係づくりが大切なのではないのでしょうか。そのような

関係を作るために、まずは地域の方にあいさつをしたり、話をしたりして、地域とつながる力をつけていきたいです。

2つ目は、自分を見直す力です。私は、ニュースを見て驚いたことがありました。それは、殺人などの事件を起こしたのに、その理由は「特にない」や「ムカついたから」など自分勝手なものが多かったことです。そのような自分勝手な理由で被害にあっても怖く、悲しい気持ちになりませんでした。

日ごろから、自分の行動や言葉を振り返ることで、このような事件を起こしてしまう前に、思いとどまることができたのではないのでしょうか。また、人に相談する、きつい思いをしていることから離れるなど、ほかの方法が見つかったかもしれません。だから、私は、日ごろから自分の言動を見直す習慣をつけていきたいです。

3つ目は、人を思いやる力です。地域には、さまざまな人が暮らしています。誰もが暮らしやすい環境や

雰囲気をつくることで、犯罪や非行のない明るい社会をつくることのできるのではないのでしょうか。そのためにも、「思い」を「思いやり」にすることが大切だと思います。人を思いやる温かい心を、ぜひ行動に移して、思いやりのバトンをつないでいきたいです。

私は、みんなが安心して、楽しく安全に暮らせる地域社会をつくるために、これらの3つの力を身につけていきたいです。皆さんも、一緒に、自分ができることから始めてみませんか。

